



江戸川区

新川 千本桜

ウォーキング 2022

昨年は舎人公園で濃いピンク色の寒緋桜系を堪能した。今年はどこで、どんな桜を見られるのだろうか。昨年末の定例会にて相談・協議し「江戸川の新川千本桜」にしようかと。

新川は、荒川・中川と旧江戸川を東西に結ぶ3.5km程の運河。家康の江戸構築計画にて、行徳から塩を運ぶための水路として築造された。

江戸川区と有志達は、平成19年(2007)運河の修景計画として両岸に種々の桜を植え、火の見櫓や古風な橋を掛け、人々が江戸情緒を楽しめるようにと着手。その景観は土木学会のデザイン賞を受賞している。桜の植樹から15年程が経過。そろそろ見頃になっているはずと期待しつつ新川での桜見ウォーキングをすることにした。

幸い蔓延防止も解除されたのだが、23日の実施予定が冬日となり、開花も遅れ気味であったことから1週間延期して本日30日に実施とした。

都営地下鉄新宿線 船堀駅へ

新宿三丁目で都営地下鉄に乗り換える。大島の方で地上に出ると高架となり、東大島駅先で荒川・中川を超え船堀駅に到着。船堀駅の改札前に6人全員集合。

10時5分ウォーキング開始。駅前の広場からグリーンロードを南方向に500m程の新川に向けて歩き始める。

勢い余って下喜田橋を渡りそうになるが、少し戻って新川岸に降り着くと案内図が待っていた。



案内図



下北橋際から西側江戸川方向を



江戸時代はこんな運搬船が通っていた？

新川千本桜

新川の桜並木は、ほぼ満開で待っていた。西側の荒川・中川方向に歩き始める。中川手前では火の見櫓を設けるなど時代を遡り、江戸情緒が演出されている。



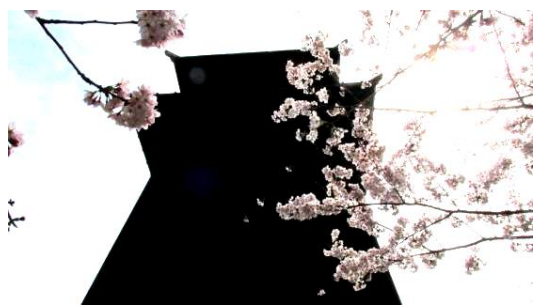
桜は20種718本とのこと



こんなに満開・天気も晴れて



西詰めに火の見櫓が



火の見櫓は17m程の高さ



火の見櫓から新川東方向を



火の見櫓から荒川・中川方向を



櫓からの見下げ:桜の海



中川との水門



WINGS&櫓



櫓見上げ



櫓を背に記念写真



西水門橋を南岸に渡る



船・さくら・サクラ

火の見櫓から西水門橋を渡り、南岸を東方向にUターン。ここまで船堀から1km程。新川は、あくまでも運河。河川敷は無く遊歩道のスペースは狭い。狭いゆえに船は対比し大きく見える。神田川や善福寺川の中流域の景観に似ている。だが水面は近く広い。船は樹齢20年位になるのだろう、花付きも良く色付きも良い。



こんな土堀も



照明も常夜灯のように



下喜田橋付近迄戻ってきた
さて、さらに東へ



各本々には名札が



WINGSが行く



所々にヨシ・アシが



宝橋(東端から2番目の橋)迄で引き返すことに



南岸には高層マンションも・・・規制は難しい？

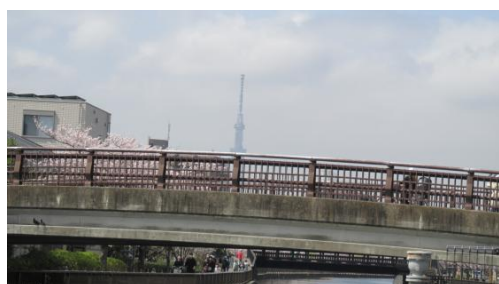


すでにツツジが咲き始めている

なんと還りが都内をぐるりと廻って、
ここまで来ている。杉並と江戸川が、1
本の京で結ばれている。



手摺の高さは80cm程で水辺を感じる



橋の手すりも木製にしている

旧江戸川迄は、ちょっと遠い？

旧江戸川を見たい、とは思っ
ただけが帰りの足を考えると、全行
程を7km 位に納めたい。環状7号を
超え2本先の旧江戸川から1本手前
の宝橋で北岸側に渡り、下喜田橋方
向に折り返す。遠く旧江戸川の先に行
徳が霞んでいる。



環七の東に花見橋・宝橋が



花見橋



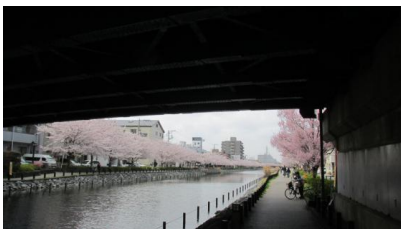
宝橋



旧江戸川・行徳方向遠望

Uターン

新川の北岸を西に向かって戻る。



環七下部から旧江戸川方向を



この先をずっと進めば杉並に

梶記念碑・新川さくら館等でメモリアルを観ながらの休憩。梶の植樹に合わせて事業の記念館としてこの施設が建設されている。



新川さくら館

地下駐車場????

新川下部に駐車場がある。地下へ潜るスロープがこれ、信じたくないので降りて行くことはしなかった。



新川の下部に?のスロープ

新川をほぼ往復して

船堀駅からのグリーンロードとの出会い迄戻って来た。此处までで約6.5km。グリーンロードを駅方向に戻る。疲れ始めた足に500m程が遠い。駅のガード下を潜り右手の江戸川区のコンベンション施設であるタワーホールに入館する。



タワーホール外観



展望塔

ランチ

時刻は12時50分、もうランチタイムだ。7階のサロン・ド・サロンで昼食を。お奨めメニューのビーフハンバーグセットをいただく。松屋デパートのプロデュースゆえ結構美味しい。



サラダ&スープ



ハンバーグセット¥1200 これにコーヒーor ティー

食後に同館の展望塔にエレベーターで上がって行く。都営地下鉄の南側に船色の帯が見える。先程まで巡ってきた運河と船だ。



展望塔からグリーンロードを鳥観



荒川・中川方向よく見ると船並木が



南東方向・新川もよく見ると

えびろーぐ

2021年に舎人・2020年には福生・母摩堤を、花盛りの船を好天のもとで見せて頂いた。新川の船もなかなかであった。火の見櫓、太鼓橋、欄干、護岸等が江戸時代の景色を偲ばせてくれた。ウォーキングは約7km。10,000歩弱。今回のウォーキングコースは各個人に合わせて行けるところまで行き、一番遠くまで往ってきたメンバーが戻ってくるのを待って、一緒にスタート地点に戻れたこと。

オミクロン・ウクライナが心配なのだが、潜伏想定期間の5日後に発熱と上部咽喉痛のないことを確認し、今回ウォーキングの完了となる。

20220303

suginami WINGS

記 J U S T ing